

升形小だより

11月号

平成26年11月20日
新庄市立升形小学校
文責 校長 横山 薫

みんなの思い！ 升形に響け



3・4年 子ぎつねのちえ



2年 おおかみと7ひきのこやぎ



1年 11ぴきの升形のねこ



5・6年 権蔵だいこ

10月25日(土)に、学習の成果を発表する場として「わかすぎの集い」を開催しました。「わかすぎの集い」は、春の「運動会」と並ぶ大きな行事です。

10月に入ると子どもたちは準備に入りました。全学年が劇なので準備には時間がかかります。何回も体育館で練習を重ね、本番に備えました。私は、担任の先生方をお願いしたことがありました。それは、劇の練習の過程で、「学級の子どもたちの心を、ひとつにしていくことに力を注いでほしい」ということでした。同じ目的に向かって進んでいく時間は、しっかりした学級経営を築いていくチャンスだからです。

子どもたちは、集いを通して一回り大きく成長しました。子どもの成長は集団の中でこそ育まれていくのです。

私は、最後の講評の中で、2つのことを伝えました。「ひとつのことをみんなで創り上げるよさ。」と「心がひとつになったときのすばらしさ。」です。2学期も後半を迎えました。集いで培った力を、学校生活に生かしてほしいと願っています。

升形小若連のお囃子で幕を開けた集いには、保護者の方々や地域の方々が多数来ていただき感謝申し上げます。各学年の子どもたちの思いが、観客のみなさんに届いたことと思います。

新庄市総合防災訓練／10月26日(日)



前日が「わかすぎの集い」(文化祭)でしたので、子どもたちにとっては連日の登校日になりました。しかし、見るもの聞くものが、とても刺激的で変化に富んでいたもので、子どもたちは興味津津でした。

最初の見学は体育館でした。自衛隊による「東日本大震災における自衛隊員の活動映像と説明」、NTTの「災害用伝言ダイヤルの体験」、東北カーターの「ダンボールベッドの組み立て体験」、コメリの「災害時に使う品物の説明」など普段できないことを体験しました。

外では、医療救助訓練や初期消火訓練を体験し、災害時には、いろいろな部署の人たちが協力して事に当たることを学びました。

学校は、災害時の避難場所に指定されています。いつ起こるか分からない災害に対処するために、普段から教職員や子どもたちとともに、心の準備をしておきたいと思います。

いのちの大切さを考える月間

本校では、6月と11月を「いのちの大切さを考える月間」と位置づけています。

11月は、下記の取り組みを計画し、子どもたちと一緒に考えていきます。

1. いのちの講話：校長(将来の夢について)
2. いのちの集会：低学年と中・高学年毎
 - 教育相談11日(火)～13日(木)
 - 通学班長会：登校の安全を確認する。
 - 養護学校との交流：27日(木)です。
 - 道徳の授業：重点指導内容を決めて行う。
 - 食育指導：給食の時間に行う。

11月19日(水)全校集会を開き、校長が、子どもたちに将来の夢について話をしました。紹介した人物は、プロテニス選手の錦織圭さんです。今、いのち輝いている人物の一人として取り上げてみました。話をした内容は、次のことです。

1. 3歳からラケットを握ったが、決してテニスだけしていたわけではなく、いろいろなスポーツを経験したことが、今の土台になっていること。
2. 錦織さんが、記者から「全国の小・中学生に語りたいことは何ですか。」と質問されて、夢は大きく持ってほしい。夢を追い続けてほしいと語っていること。

他の学年と仲良くなろう



他の学年の人たちと交流を図るために、児童会主催で「仲良く遊ぶ」活動を企画しました。

18日(火)は、1年生と5・6年生の交流でした。朝、体育館の中は大変寒いのですが、楽しいゲームをしました。縦割りの活動は、とても大切なことだと考えています。放課後は、なかなか他の学年と遊ぶ時間がありません。天気が悪くて、グラウンドで遊ぶ時間が少なくなる時期です。とても貴重な時間を過ごすことができました。